※A3版に拡大してお使いください。

2

写

視

言葉の力をつけよう(新聞コラムの視写①)

佐賀新聞 有明抄「わたしの妹」

_____名

前

やってみよう

分は める箇所では、句点「。」と改行をまとめて◆で示してあります。「有明抄」の◆部各社の決まりを設けて表記してあります。「佐賀新聞」の「有明抄」では段落を改新聞の第一面にあるコラム記事は字数が限られているため、段落を改める箇所を !原稿用紙の書き方に従って、 「。」と改行をまとめて◆で示してあります。 句点 「。」を付け、 改行して視写しまし

「有明抄」

できない おか 公用 これは実話である◆移民、 姉 ップ 徴がそれぞれ個性をもって万華鏡のように光るという意 とだ◆カナダは 0 ているカナダの移民政策と多文化主義を見聞 のに」と書き残して、 その弾む声を窓越しに聞きながら うにはしゃぎながら女の子の家の前を通り過ぎてゆく。 くなった。 ごはんもほとんど口にせず、 言って受け取ってもくれない。 いもうと』(偕成社)。 みあげてくるものをこらえこらえ書き上げた てとうとう誰も口をきいてくれなくなっ 人ぽつ (から届いた「私の妹のことを聞いてください」という 通の手紙をもとに、 院定してい のは、 そこで待ってい い 文化の違いを受け入れながら共存し、 語の英語と仏語のほかに三十以上の言語を受け入れ しいと笑われ、給食を配ろうとしても「臭い!」と しながら転校していった小学校四年の女の子◆ 国をつくるため権利と自由に関する「カナダ憲章」 狭 ん。 い友達をい 言葉のなまり一つとっても受け入れることの いじめた子どもたちは何事も 移民に対する差別や偏見を排除 る。 遠足でも独りぼっち 性だ ″モザ は 寛容と理解の大切さを学びたい 人の命だって奪ってしまうというこ たの 0 死んでしまった女の子◆その子 ぱ ・イク国家』といわれる。 児童文学者・松谷みよ子さんがこ 涙なくしては読めないこの物語 いは悲しい い 難民の母国は百なな 0 やせ衰え、 くるんだ。」 ひと月、 「一緒に遊びたかっ ◆そのうち女の子は、 V じめだった。 た。 胸弾ませ、 ふた月…。 学校へも行けな なかったかのよ その多様な特 Ĺ カ国に及び、 休み時間 しながら思 『わたし 分け隔て 民族や宗 言葉が そし ス で +

狭量性…心が狭くて、人の考えを受け入れられない性質。 佐賀新聞 平成十六年十一月七日 一面

注

